

賛否の中 安倍氏国葬



安倍晋三元首相の国葬で、昭恵さん（右）から遺骨を受け取る岸田文雄首相＝27日午後2時55分、東京都千代田区の日本武道館、代表撮影

吉田はその後2度から3度、
通商省であった。國會、國
際演説も緊密に統括し、安倍
氏の好みをまとめた約40分
間の映像が流れた。用語
は、葬儀司長の岸田文雄
首相、衆議院議長、衆議

内閣府によると、海外21-3の国・地域・国際機関からの要人を含む、国内外から41863人（満期候）が参列した。高齢者・有功者・功労者の国籍は、1967年の吉田茂氏以来、戦後2例目。開催を巡り国論が二分される中で実施された。

般献花に列[■] 周辺でデモ

者や知られし

は、東京・高ヶ谷の自宅前で自衛隊の儀仗隊約20人の敬礼を受け、沿道の人々に見守られる中、武道館に向かった。武道館近くの九段坂公園には一般向けの献血台が設けられ、献血に訪れた人の列ができる。開始予定は午前10時だったが30分早められた。内閣府による

分断に責任 首相は行動を

政治部長

安価路線と元高橋の国際化路線が
敵かなる緊張感の中、大義を貫いて
混乱なく終った。井手田首相は胸をなで下ろしつつ、
いよいよ引退した。だが、高橋は、
政治的とはともかく成功を収められたのである。
國民の幅広い支持を得られず、分断を招いてしまった。
やもやもと想ひてそれを擱け
て政権の座に就いた井手田草野内閣には、
相には、分断型の政治体制が目立つた。(安価路線は)連
れた國體の精神も架空となつた
はずだ。だが國民反対の声
論が強まる中で丁寧に對応
し始め、結果が決してよくない、政

安倍氏の功績はかりに強調されたりの日本の国費の真ん中に首相がいたりとは、「落とし穴」になってしまった現状を察徹するやれだつた。何を間違つたのか。

「いま、決定プロセスの問題で、当選同様の懸念の死に対する感情に加え、争いを失った国民党保守派のつたあとなどに計算が透け、「友情と打算」の選択で虚脱感があつた。

二つ目が、内閣府設置法と閣議決定による法的根柢のあらわしかね。二つ目が、

解を得る努力を怠り、野党は議論を通じて幅広い理解を得ることにして国粹に深く貢献した。それが遠見立派にして国粹に深く貢献した。それが遠見立派にして国粹に深く貢献した。

を擧げて武道館圓刃を手に、毛利行連した。大腹や名古屋などでも銅金やドモがあつた。
国葬にあわせ、首相は参列に訪れた海外の首脳級要人らと会談する「弔問外交」に臨んでいる。20日に

しなった6日後の7月14日に、安倍氏の国葬を実施する考えを表明した。懲政上最悪の在任期間内に、外交での連續性を理由に挙げた。費用として総額15億6千万円の試算も明かにした。

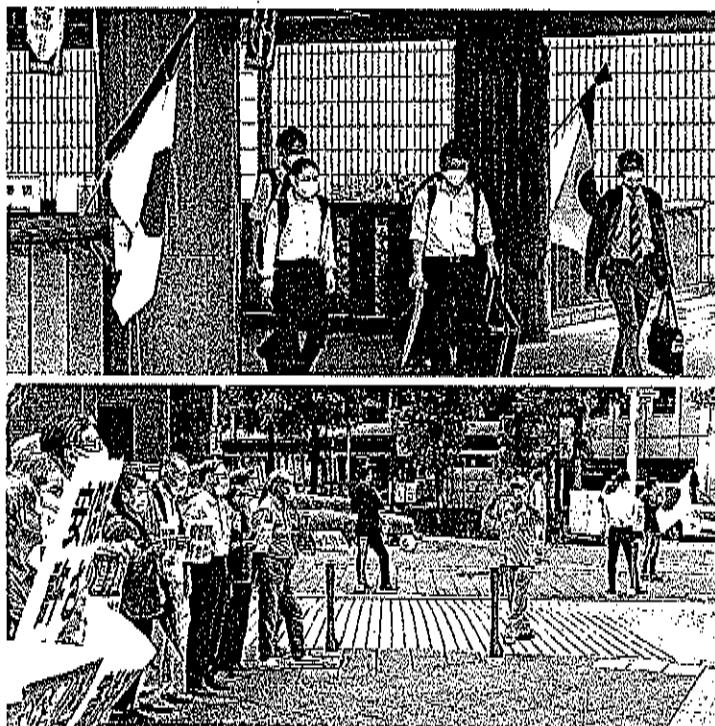
だが、法的根拠のあいまいさや費用の不透明さが指

3千人が勤めただとう。
一方、国会正門前や東京の日比谷公園などでは国葬に反対する集会が開かれた。「弔慰の強制になつてゐる」と批判する人らが「国葬反対」のプラカード

は幾度もアルベーリー・シー某
相やイングのモード以前相
会った。26～28日の計3日間
で、約40の国・地域・重
要機関の首脳や代表といふ者
の予定だ。

政府は、地方自治体や教員賃金に対し弾劾の表和統一家連合（日統一教會）の闇よりも問題視された。報道各社の世論調査では、反対が賛成を上回った。

9/28 朝日



●県庁正面入り口には弔旗が掲げられた。その奥で日本の丸を掲げて抗議する人の姿があった。いずれも福井市

抗議と弔意 県内でも

安倍氏国葬

賛否が分かれる中で、安倍晋三元首相の国葬が27日に行われた。県内からは杉本達治知事や東村新一・福井市長らが出席した一方で、反対する市民団体は「田

も抗議の声を上げた。

県庁では庁舎に半旗と弔

旗が掲げられた。職員によると、黙禱や県民向けの献花台の設置はなかった。

国葬に出席した杉本知事

は「本県に対しても北陸新幹線敦賀開業の前倒しや小浜京都ルートの決定、拉致問題の解決等に尽力いた

だいた。生前の多大なる功績に改めて深く敬意を表し、「冥福を心よりお祈り申し上げる」との談話を発表した。

自民党の稻田朋美衆院議員の福井市内にある事務所

には献花台が設けられた。あわら市の男性(60)は「憲政史上最長の政権を担つた元首相への弔意をきちんと

表したくてこじく来ました」と話した。

一方、県庁前では反対派の市民約20人による集会があ

り、「国葬に反対」と書かれた横断幕を掲げ、「国葬には法的根拠がない」など訴えた。すぐそばでは、その集会に反対する市民が日の丸を掲げて、「死人につけをかけるな」と声を張り上げた。警察官も出動し、現場は緊張した。

県内の自治体では27日、14市町と10市町議会が福井の地元2紙に弔意を表す新聞広告を掲載した。

広告を出さなかつた議会に所属する議員の一人は「世論に反対意見が多いことと、議会には色々な考え方の議員がいることで、議会として広告で弔意を表すのは難しくと判断した」と話した。(小田健司、堀川敬部)